

都市再生整備計画 事後評価シート
西山天王山駅周辺地区

令和6年2月

京都府長岡京市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	京都府	市町村名	長岡京市	地区名	西山天王山駅周辺地区			面積	167ha			
交付期間	令和元年度～令和5年度		事後評価実施時期	令和5年度		交付対象事業費	3,622.6百万円	国費率	0.471			
1) 事業の実施状況	事業名											
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	(道路)市道4061号線整備事業、市道4062号線整備事業、市道4103号線歩行空間改良工事、市道4110号線歩行空間改良工事 (地域生活基盤施設)P&R駐車場、デジタルサイネージ、埋蔵文化財説明板 (誘導施設)済生会京都府病院									
		提案事業										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	地域生活基盤施設P&R駐車場		P&R駐車場整備の見通しが立たなくなったため、第3回変更(令和4年10月)にて計画から削除。			指標の一部変更。「指標2:P&R駐車場の利用件数」を削除し、「阪急西山天王山駅東駐輪場の利用者数」に変更				
		提案事業										
新たに追加した事業	基幹事業	(誘導施設)長岡第四小学校校舎建て替え工事		小学校を誘導施設として整備するための国との協議が整ったため、第2回変更(令和3年10月)にて追加。			影響なし					
	基幹事業	(地域生活基盤施設)駐輪場: 阪急西山天王山駅東駐輪場増設整備		駅隣接地に用地が確保できたことにより駐輪場を増設できる見込みが立ったため、第3回計画変更(令和4年10月)にて追加。			計画から削除した「P&R駐車場整備事業」に代わり、「指標2: 阪急西山天王山駅東駐輪場の利用者数」として新たに指標とした					
交付期間の変更	当初			交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	西山天王山駅の乗降客数	人/日	12,244	H28	12,474	R5	モニタリング	14,857	○	あり なし	駅直結の地域中核医療施設として「京都済生会病院」の移転を実現したことなどにより、公共交通の利用促進につながった。
	指標2	西山天王山駅東駐輪場の利用者数	台/年	36,730	H28	47,749	R5		47,934	○	あり なし	各整備事業の実施による利便性の向上により駅乗降客数が増加し、結果として駐輪場の利用者数を増加させることができた。
	指標3	地区内人口	人	12,880	H29	12,880	R5		12,977	○	あり なし	駅周辺の道路整備、病院の移転、小学校の再整備等による安心・安全で良好な住環境の形成により、地区内の人口を維持することができた。
	指標4											
	指標5											
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	地区内の地価(地価公示・地価調査)の平均値	円/m ²	182,000	H28							地点ごとに異なる変化が見られたものの、地区内の地価の平均値は計画期間終了後にはわずかに増加していた。病院移転等により地区の住みやすさが向上したことが一因と考えられる
	その他の数値指標2											
	その他の数値指標2											
4) 定性的な効果発現状況	・京都済生会病院の駅直結地への移転を実現することで、病院の利用者からは「非常に通院しやすくなった」との声が寄せられている。また、移転に伴い病床数や医療設備・診療科目も拡充され、新型コロナウイルス対応病床も拡充されるなど、地域の医療拠点として乙訓地域全体の医療体制の質の向上につながっている。 ・デジタルサイネージによる観光案内や、文化財説明板の整備、駐輪場の増設などにより地域の観光資源にアクセスしやすい体制を整備したことで、西山天王山駅を基点とする地域観光ルート開拓が進んだ。地区内ではウォーキングやサイクリングで観光を行う人の姿が以前より多く見られるようになっている。											
5) 実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	官民連携による取組	下海印寺下内田土地区画整理組合による京都済生会病院移転に向けたワークショップ等			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 土地区画整理事業による保留地の創出により京都済生会病院の移転が実現、病院の移転・開業を迎えたことで、当組合の事業目的は達せられ、組合は無事解散を迎えている。			
	持続的なまちづくり体制の構築	下海印寺まちづくり協議会による定期集会の開催			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 西山天王山駅周辺を含む市南部の魅力的な街づくりの実現に向け、同協議会による定期的な勉強会・地域清掃活動が今後も継続して続けられる予定である。			

様式2-2 地区の概要

西山天王山駅周辺地区(京都府長岡京市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標 交通結節点という新たな機能を活用したコンパクトで魅力あるまちづくりの推進 目標① 人々の交流を促し、都市活力の増進 目標② 広域交通拠点の特徴を活かした公共交通の利用促進 目標③ 生活環境の充実及び情報発信機能の強化によるまちの魅力向上	西山天王山駅の乗降客数	単位:人/日	12,244	H28	12,474	R5	14,857	R4
	西山天王山駅東駐輪場の利用者数	単位:台/年	36,730	H28	47,749	R5	47,934	R4
	地区内人口	単位:人	12,880	H29	12,880	R5	12,997	R5
		単位:		H		R		R
		単位:		H		R		R

長岡第四小学校 建て替え後イメージ

京都済生会病院 移転事業

デジタルサイネージ

埋蔵文化財説明板

■ 基幹事業(中心拠点誘導施設) 長岡第四小学校

■ 基幹事業(道路) 市道4062号線整備事業

■ 基幹事業(道路) 市道4061号線整備事業

■ 基幹事業(道路) 市道4103号線歩行空間改良工事

■ 基幹事業(道路) 市道4110号線歩行空間改良工事

■ 基幹事業(地域生活基盤施設) 駐輪場

■ 基幹事業(地域生活基盤施設) 埋蔵文化財説明板

■ 基幹事業(地域生活基盤施設) デジタルサイネージ

■ 関連事業 下海印寺下内田土地区画整理事業

■ 基幹事業(中心拠点誘導施設) 済生会京都府病院

市道4062号線 整備後

市道4061号線 整備後

市道4103号線 整備後

市道4110号線(整備前)

<p>まちの課題の変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化社会を迎える中、京都済生会病院や地域コミュニティの核としての長岡第四小学校建て替え事業を実施したことで、医療や福祉・防災・教育・地域活動拠点機能などが集約して発揮されるようになり、効率的なサービス提供体制の構築に繋がっている。その結果、都市活力の維持・増進が今後も図られていくことが見込まれる。 ・各整備の結果、西山天王山駅を中心とした鉄道・自転車・自家用車・バス・高速バスの交通結節点機能が一層強化され、駅を起点にした観光ルートなどの開拓が進み、地域交流が促進された。 ・市道の各整備事業を通じて、バリアフリー化や安全な歩行空間の確保が進み、高齢者や子供・学生・子育て世代などが安心して通行・生活できる環境の創出につながっている。
<p>今後のまちづくりの方策(改善策を含む)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・依然として歩道幅員が狭い生活道が多く存在しているため、引き続き歩行空間の改良に繋がる道路整備などの継続が求められる。 ・地区内に点在する地域資源・観光資源について、その魅力や価値を市内外に広く発信する取り組みを継続することで、さらなる都市活力の増進や人流の拡大を生み出していく必要がある。

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 官民連携による取組みの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定の地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標	●		P&R駐車場の利用件数	阪急西山天王山駅東駐輪場の利用者数	基幹事業から「P&R駐車場整備」を削除した代わりに、「自転車駐車場の増設整備」を基幹事業に追加したことで、指標値もそれに合わせて入れ替えた
C. 目標値		●			
D. その他()		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	市道4061号線	38.4	L=160m	38.4	L=160m			●	
道路	市道4062号線	41.3	L=330m	41.3	L=330m			●	
道路	市道4103号線	6.1	L=40m	5.0	L=40m			●	
道路	市道4110号線	11.0	L=80m	9.0	L=80m				●
地域生活基盤施設	自転車駐輪場	—	—	25	255㎡	駅隣接地に用地が確保できたことにより駐輪場を増設できる見込みが立ったため、第3回計画変更(令和4年10月)にて追加。	駐輪場を整備することにより、慢性的な駐輪場不足の解消への寄与が期待できるとともに、公共交通の利用促進への効果が期待できる。		●
地域生活基盤施設	デジタルサイネージ	0.4	2基	0.4	2基			●	
地域生活基盤施設	埋蔵文化財説明板	0.4	1基	0.4	1基			●	
誘導施設 医療施設	済生会京都府病院	1,400	鉄骨7階建て	1,400	鉄骨7階建て			●	
誘導施設 教育文化施設	長岡第四小学校	—	—	2,100	校舎8400㎡	小学校を誘導施設として整備するための国との協議が整ったため、第2回変更(令和3年10月)にて追加。	小学校の再整備により、子育て世代を中心とした人々の交流を促し、都市の活力の増進が期待できる。		●
地域生活基盤施設	P&R駐車場	8	平面駐車場 増設部分約900㎡ 自動車32台	—	—	P&R駐車場整備の見通しが立たなくなったため、第3回変更(令和4年10月)にて計画から削除。	P&R駐車場の利用件数から阪急西山天王山駅東駐輪場の利用者数に変更。		

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無		
			基準年度		基準年度	基準年度	目標年度	目標年度					あり	なし		
指標1	西山天王山駅の乗降客数	人/日	7,853	H26	12,244	H28	12,474	R5	モニタリング			モニタリング				
									事後評価	確定 ●	14,857	事後評価	○			
指標2	西山天王山駅東駐輪場の利用者数	台/年	32,505	H26	36,730	H28	47,749	R5	モニタリング			モニタリング				
									事後評価	確定 ●	47,934	事後評価	○			
指標3	地区内人口	人	12,111	H19	12,880	H29	12,880	R5	モニタリング			モニタリング				
									事後評価	確定 ●	12,977	事後評価	○			

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	新型コロナウイルスの影響により一時期乗降客数が大きく減少したが、近年は回復傾向が見られ目標値の達成が見込まれる。	・西山天王山駅は平成25年12月に開業。
指標2	駅周辺が整備され交流結節機能が強化され、駐輪場利用者数が増加した。	・計画に含まれる自転車駐輪場(収容台数100台程度を予定)は令和5年度末の完成予定となっており、目標値の達成は、駐輪場増設工事以外の周辺整備による地域活性化効果による所が大きいと考えられる。
指標3	平成28年度から30年度にかけて人口増加が見られた後、13,000人前後で推移し目標が達成されている。道路整備、病院の移転に伴う地域の利便性向上が寄与していると考えられる。	・従前値および目標値は各年4月1日の人口を整理。計画以前の値は10月1日の値を整理。

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年度前)の値のことをいう。
 ※2 目標達成度の記入方法
 ○: 評価値が目標値を上回った場合
 △: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合
 ×: 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)		本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
			基準年度		基準年度	基準年度				
その他の数値指標1	地区内の地価(地価公示・地価調査)の平均値	円/㎡	177,667	H18	182,000	H28	モニタリング		居住環境を総合的に評価した指標として地価が用いられることがあるため	・当該地周辺の居住環境のみでなく、全国的な景気動向によって当該数値が増減する傾向にある。 ・標準地と基準地が同じ場合は標準地(地価公示価格)を参照。
							事後評価	確定 ●		

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

・京都済生会病院の駅直結地への移転を実現したことで、病院の利用者からは“非常に通院しやすくなった”との声が寄せられている。また、移転に伴い病床数や医療設備・診療科目も拡充され、新型コロナウイルス対応病床も拡充されるなど、地域の医療拠点として乙訓地域全体の医療体制の質の向上につながっている。
 ・デジタルサイネージによる観光案内や、文化財説明板の整備、駐輪場の増設などにより地域の観光資源にアクセスしやすい体制を整備したことで、西山天王山駅を基点とする地域観光ルート開拓が進んだ。地区内ではウォーキングやサイクリングで観光を行う人の姿が以前より多く見られるようになっている。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 官民連携による取組の実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
下海印寺下内田土地区画整理組合による 京都済生会病院移転に向けたワークショップ等	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	● 【実施回数】17回以上 【実施時期】平成30年度～令和3年度 【実施結果】平成30年10月26日の組合設立以降、京都済生会病院の移転実現に向けて会合やワークショップの開催を重ねながら、本市の地域医療拠点の円滑な移転に向けた土地区画整理事業を連携して推進した。	土地区画整理事業による保留地の創出により京都済生会病院の移転が実現。病院の移転・開業を迎えたことで、当組合の事業目的は達せられ、組合は無事解散を迎えている。
京都済生会病院との協働や市コミュニティバスのルート再編によって実現した公共交通利用の促進	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	● 【実施時期】令和4年6月の病院開業以降～現在まで 【実施内容】京都済生会病院の移転に伴い、市内を走るコミュニティバスの路線を再編するとともに、病院が来院者に対してバス利用料を補助する仕組みを導入したことで、来院者の公共交通分担率が大きく向上し、コミュニティバス自体の認知度や利用率も増進した	引き続き、京都済生会病院やバス事業者と市との連携を深めながら、さらなる公共交通の利用促進を図っていく

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
下海印寺まちづくり協議会による定期集会の開催	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	● 下海印寺地域の良好な住環境や安全・安心なまちづくりの実現に向けて、地域や行政と協働しながら取り組む。	下海印寺まちづくり協議会	西山天王山駅周辺を含む市南部の魅力的な街づくりの実現に向け、同協議会による定期的な勉強会・地域清掃活動が今後も継続して続けられる予定である。

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
都市再生整備計画にかかる庁内検討会議	まちづくり政策室、道路河川課、文化財保存活用課、健康医療推進室、商工観光課、交通政策課	令和5年5～7月	まちづくり政策室

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1		指標2		指標3		その他の数値指標1	
指標名		西山天王山駅の乗降客数		西山天王山駅駐輪場の利用者数		地区内人口		地区内の地価公示価格の平均値	
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	市道4061号線整備事業	-	新型コロナウイルス感染症の感染拡大による鉄道利用者数の減少が懸念されたものの、済生会京都府病院の移転や、その他駅周辺整備による利便性の向上により近郊での交通結節点としての機能が高まったことで、公共交通の利用促進につながった。	-	駐輪場増設整備事業については、整備完了が令和5年度末まで遅れることにより、計画期間中に利用者数を直接的に引き上げる効果は発揮できなかった。一方で、駅周辺の整備により駅乗降客数が増加し、結果として駐輪場利用者数を増加させることができた。	○	駅周辺の道路整備、病院の移転、小学校の再整備等による安心・安全で良好な住環境の形成により、地区内の人口を維持することができた。	○	従前値と比較して、交付期間終了後にはわずかに地価の平均値が増加していた。地区内の地点で違いがあり、駅から近い地点では1割以上地価が増加していた一方で、駅から離れた地点では地価が減少していた。
	市道4062号線整備事業	-		-		○			
	市道4103号線歩行空間改良工事	-		-		○			
	市道4110号線歩行空間改良工事	-		-		○			
	駐輪場	△		△		△			
	デジタルサイネージ	○		-		○			
	埋蔵文化財説明板	○		-		-			
	済生会京都府病院 長岡第四小学校	◎		○		◎			
提案事業									
関連事業	下海印寺下内田土地区画整理事業	○		○		○		○	

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	公共交通の利用者数の維持・増加を目指し、利用促進の取り組みを進める。	駐輪場整備を完了させ交通結節点としての機能をさらに高め、利便性の向上・公共交通の利用促進を図る。	完了見込みとなっている事業の完了により、さらなる地域の利便性向上を目指す。	引き続き、さまざまな取り組みにより地域全体の価値を向上させることを目指す。
-------	------------------------------------	--	---------------------------------------	---------------------------------------

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
都市再生整備計画にかかる庁内検討会議	まちづくり政策室、道路河川課 文化財保存活用課、健康づくり推進室、 商工観光課、交通政策課	令和5年5～7月	まちづくり政策室

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
生活サービス施設の集約と効率的なサービス提供による都市活力の維持増進、および魅力あるまちづくりの推進	・少子高齢化社会を迎える中、高度医療施設や地域コミュニティの核としての小学校建て替え事業を実施したことで、医療や福祉・防災・教育・地域活動拠点機能などが集約して発揮されるようになり、効率的なサービス提供体制の構築に繋がった。		
各観光施設への移動・案内などの情報提供充実による地域交流の活性化、および公共交通の乗換の円滑化と利用しやすい環境整備	・各整備の結果、西山天王山駅を中心とした鉄道・自転車・自家用車・バス・高速バスの交通結節点機能が一層強化され、駅を起点にした観光ルートなどの開拓が進み、地域交流の促進が促進された。		地区内の各観光スポットや名所を解説する看板自体は充実しつつあるが、それらを結びつけ機能的に誘導するサイン計画の策定や観光ルートの提案などを複合的に実施していくことが望ましい
歩行空間の整備・バリアフリー化による誰もが安心して通行できる環境整備	・市道の各整備事業を通じて、バリアフリー化や安全な歩行空間の確保が進み、高齢者や子供・学生・子育て世代などが安心して通行・生活できる環境の創出につながっている。	・依然として地域内に歩道幅員が狭い生活道が多く存在する。	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	都市活力の維持・増進	・拠点機能の集約により構築された効率的なサービス提供体制に基づき、今後も都市活力の維持・増進を図る。	(機能集約拠点へのアクセス改善に資する事業) ・乗り捨て型シェアサイクルの普及 ・バス停待ちあい環境の向上 ・まちなかでの駐輪場の拡充・整備 など
	地域交流の更なる活性化	・地域内に点在する地域資源・観光資源の魅力・価値の発信を継続し、地域交流の更なる促進を図る。	・地域に潜在する魅力発信者の掘り起し ・地区内の観光資源の魅力を伝える写真素材のフリー配布・集積サイトの構築 ・地区内の見どころを結び付け周遊を促す観光ルートの提案・発信 など

B欄 改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	道路整備の継続	・幅員の狭い生活道を中心として、歩行空間の改良につながる道路整備などを継続する。	・市道改良事業の継続 ・その他補助メニューなどの活用
	・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策		

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

✓	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
✓	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
✓	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
✓	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
✓	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画			
			年度	年度	年度	年度					予定時期	計測方法	その他特記事項	
指標1	西山天王山駅の乗降客数	人/日	12,244	H28	12,474	R5	確定	14,857	○	あり	→	令和6年7月	令和5年4月～令和6年3月の乗降客数を確定値として集計する。	
							見込み ●							
指標2	西山天王山駅東駐輪場の利用者数	台/年	36,730	H28	47,749	R5	確定	47,934	○	あり	→	令和6年7月	令和5年4月～令和6年3月の利用者数を確定値として集計する。	
							見込み ●							
指標3	地区内人口	人	12,880	H29	12,880	R5	確定 ●	12,977	○	あり	→			
							見込み							
その他の数値指標1	地区内の地価の平均値	円/m ²	182,000	H28	/	/	確定 ●	(185,000) R4平均値	/	/	→			
							見込み							

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	明確に数値として集計できる要素を指標としたことで、達成度合いの評価が明確に行えた。	他地区で実施する際にも、数値化できる指標を積極的に採用していきたい。
	うまく いかなかった点		
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	駐輪所の利用者数などは、整備内容と直結した指標であるため、整備効果がダイレクトに評価できた	引き続き、整備内容をダイレクトに反映できる数値目標の設定を心掛ける。 「地区内人口」については、左記の通り複合的な要因により増減する性質は一定有るものの、その地域の持つ活力や地域経済規模を如実に表した指標ととらえることが出来るので、他地区においても指標の一つとして継続して採用する。
	うまく いかなかった点	「地区内人口」などは、地区内での宅地開発やマンション建設などの複合的な要因で数値が増加した側面もあった。	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	病院移転に向けた土地区画整理事業を進める中で、ワークショップ等を数多く実施したことにより、地域意向を十分に反映した整備ステップを踏むことができた。	住民に身近な事業の実施にあたっては、ワークショップ等を積極的に実施し、地域と連携したまちづくりを推進する。
	うまく いかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点		以降の計画においては、大きな社会的変化が生じた場合には、事業実施期間中にモニタリングを実施することも検討し、必要に応じて整備計画の変更や評価指標の変更等の対応を行う。
	うまく いかなかった点	事業実施期間中のモニタリングを行わなかったため、社会情勢の変化(新型コロナウイルス感染症の拡大等)を評価指標等に反映させることができなかった。	
その他	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		

添付様式6－参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

■今後、事後評価を予定する地区

本市では、令和5年から令和9年を計画期間とする「第二期都心ゾーン地区 都市再生整備計画」に基づく事業を進めている。計画の評価にあたっては、本地区における事後評価の経験を活かし、効率的・効果的な事後評価の実施を目指す。

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページに掲載	令和5年9月25日～10月13日	令和5年9月25日～10月13日	担当課への電話、 FAX、電子メール	まちづくり政策室
広報掲載・回覧・個別配布	広報に市のホームページで原案を公表している旨を掲載	長岡京LIFE 10月号 (令和5年10月1日発行)	令和5年9月25日～10月13日		
説明会・ワークショップ					
その他					

住民の意見	意見無し				
-------	------	--	--	--	--

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	大田 直史(龍谷大学教授) 佐伯 康介(元京都市交通政策監)	令和5年12月4日	まちづくり政策室	長岡京市まちづくり条例	長岡京市まちづくり審議会
その他の委員	横山 雅宏(市民公募委員)				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	・適正であると確認された
	成果の評価	・適正であると確認された
	実施過程の評価	・適正であると確認された
	効果発現要因の整理	・適正であると確認された
	事後評価原案の公表の妥当性	・妥当であると確認された
	その他	
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・妥当に進められたことが確認された
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	・地区内の各観光スポットや名所を解説する看板自体は充実しつつあるが、それらをつなぎ機能的に誘導するサイン計画やルート提案などを複合的に実施していくことが望ましい ・今後市が整備を検討するとしている「乗り捨て型シェアサイクル」については、他市での普及状況や整備に伴う弊害の確認なども行いながら整備を進めることが望ましい。一方で、特に市内市街地を中心に、商店利用者などに向けた一時駐輪場などの整備も併せて実施を検討することが自転車利用の促進の観点からは重要ではないか
	フォローアップ	
	その他	
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	妥当であることが確認された
その他		

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

(7) 有識者からの意見聴取

添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署

有識者の意見	
--------	--